

聴覚障がい者からの要望事項について

4月28日に聴覚障がい者の方々と防災・安全の問題を中心に懇談会を行いました。

そこでみなさんから切実な問題が提起されましたのでお伝えします。熊本地震の避難所の様子なども報道されていますが、障がい者を取り残すことの無いよう日常から備えておくことが必要です。いずれも大切なことと思いますので、要望事項に添えていただきますようお願いいたします。

また 市長が直接みなさんと会い、懇談し、要望を聞く機会をつくっていただきますようお願いいたします。

(要望事項)

1. 情報伝達について

ア) 火災報知機が設置されているが、警報音は聞こえない。

目でわかるものにしてほしい

イ) 防災情報無線の音は聞こえない。

ウ) あんしん・安全ネットメールについて

緊急情報だけのわかりやすい、肝心なことだけがわかる情報にしてほしい（市のあんしん・安全ネットは情報が多すぎて理解できないそうです）

エ) 扶桑町は、あんしん・安全ネットメールへの登録をQRコードでできるようにしているそうです。登録がしやすくなると思う。

2. 避難行動要支援名簿について

このような制度があることも知らなかった。

登録したら何が変わるのか。教えてほしい。

3. 福祉避難所について

ア) 高齢者のための福祉避難所はあるが、障害者のための避難所はないのではないか。一般の避難所へ行っても、目の見えない人、耳の聞こえないものは、危険がいっぱいで不安。

避難所には、紙などで大きく張り出すなど分かりやすくしてほしい。

イ) 障害者のための避難所をつくってほしい。

4. 防災訓練について

毎年参加しているが、受付に聾者の担当者を置いてほしい。

紙に書いてわかるようにしてほしい。

5. 災害時だけではなく窓口でも簡単な手話を理解してもらうために、職員向けに手話教室を開いてほしい。